

10月24日(日)は

能登町議会議員選挙 の投票日です。

◆投票時間 午前7時～午後7時
※第4・5・6・8・9・11・13・14・15・17・19・20・21・24投票区は午後6時まで

◆有権者

平成22年10月25日までに生まれた人で、平成22年7月18日までに能登町に住民登録を行い、引き続き3カ月以上能登町に住所を有している人。

◆入場整理券

住民登録がある住所へ送付されます。住民登録と現住所が異なっている人は、入場券が届かない場合があります。入場整理券がなくても選挙人名簿に登録され、当日選挙権があれば投票できます。

◆不在者投票

選挙人名簿に登録されている人で、現在出稼などで能登町以外に在住している人は、不在者投票をすることが出来ます。該当する人は、事前に宣誓書(請求書)を取り寄せ、必要事項を記入して選挙管理委員会へ請求してください。請求後、投票用紙などを郵送しますので、封筒を

開封せずに滞在先の選挙管理委員会へ行って不在者投票を行ってください。

※投票は、滞在先選挙管理委員会の執務時間内にできます。閉庁時間などは滞在先市町村まで問い合わせください。

選挙期間が短いため、早めの請求をお願いします。

◆期日前投票を利用しましょう

投票区	投票所名	投票時間
10月20日(水)～ 10月23日(土)	能都庁舎 1階集会室	午前8時30分～午後8時
	柳田庁舎 1階事務室	午前8時30分～午後7時
	内浦庁舎 1階ロビー	
10月22日(金)～ 10月23日(土)	鶴川支所 図書室	
	小木支所 ロビー	

能登町議会議員選挙における「投票日当日」の投票立会人募集

選挙管理委員会では、選挙に対する関心を高めるため、能登町議会議員選挙の投票立会人を一般公募します。

〈内容〉選挙が公正に行われているか確認する仕事です。

〈場所〉いつも投票している投票所(選挙人名簿に登録されている投票区)

〈時間〉午前7時～午後6時・午後7時

〈報酬〉10700円/日(食費・交通費は支給されません)

〈応募資格〉能登町在住の有権者(選挙人名簿に登録され、選挙権のある人)

〈募集人数〉48人(2人×24投票所)

〈応募方法〉選挙管理委員会事務局(総務課内)までご連絡ください。

〈応募結果〉後日、選挙管理委員会から通知します。応募者多数の場合は抽選となります。

〈応募締切〉10月6日(土)午後5時まで

石川海区漁業調整委員会委員補欠選挙は無投票となりました

9月16日執行予定の石川海区漁業調整委員会委員補欠選挙が7日に告示され、立候補者が一人であったため、無投票となりました。

町選挙管理委員会 ☎62-8510



平成21年度決算を認定。一般会計は4億3548万円の追加補正。

能登町議会第3回定例会が9月6日に招集されました。会期を15日までの10日間と定め、報告1件、平成22年度一般会計補正予算や条例改正など議案10件、平成21年度決算の認定14件が上程されました。

持木町長が議案の提案理由を述べたあと、8人が議案について質問。議案は各常任委員会に付託され、認定14件は設置された決算特別委員会に付託され審査されました。

最終日の採決では、委員長報告を受けて報告1件を承認、議案10件は原案のとおり可決されました。21年度決算14件も認定されました。次に追加議案2件が上程され、持木町長が提案理由を説明。原案のとおり可決されました。

議会議案は初日に1件、最終日に2件上程され、原案のとおり可決されました。

〈設置された決算特別委員会〉

▽大谷内義一(委員長)▽多田喜一郎(副委員長)▽酒元法子▽宮田勝三▽久田良平▽新平悠紀夫

投票区	投票所(予定)	区 域
第1	能都社会福祉会館(能都庁舎) 1階集会室	宇出津の一部(天保島、天徳町、本町、大蔵町、浜町、酒垂町、大竹町、中組、桜町、三番町、中島町、浜小路、川原町、新村本町、新村浜町、昭和町、音羽町、小棚木、大棚木、城野町、城山)
第2	宇出津小学校 1階ロビー	宇出津の一部(仙人町、立町、横町、上田町、上町、中町、大橋組、錦町、栄町、上岩屋町、下岩屋町、漆原、梅ノ木、平体、大平、源平)、宇出津新港、藤波の一部(辺田ノ浜、柳倉)
第3	ひばり保育所 遊戯室	崎山、藤波の一部(四明ヶ丘)
第4※	三波公民館 集会室	藤波の一部(間島)、波並
第5※	矢波地区集会所	矢波、猪平
第6※	神野公民館 ホール	宇加塚、鶴町、曾又、藤ノ瀬
第7	鶴川公民館 図書室	七見、鶴川、小垣の一部(一の谷を除く)
第8※	瑞穂公民館 和室	柿生、瑞穂、俎倉、山田の一部(上三田を除く)、武連、本木、小垣の一部(一の谷)
第9※	宮地生活改善センター 集会室	宮地、鮭尾、山田の一部(上三田)、太田原、柏木
第10	柳田体育館	柳田、笹川、石井、国光、鴨川、五十里、十郎原
第11※	小間生公民館 会議室	上長尾、小間生、桐畑、鈴ヶ嶺、久田
第12	上町地区生活改善センター 和室	合鹿、上町、天坂、寺分、五郎左工門分
第13※	岩井戸公民館 会議室	黒川、大箱、北河内
第14※	当日地区多目的研修集会センター	当日
第15※	斉和多目的集会所	中斉、神和住
第16	内浦福祉センター 1階集会場	松波、恋路、明生、布浦
第17※	上区集会場	上、滝之坊、田代、駒渡
第18	不動寺公民館 集会室	宮犬、不動寺、行延、時長、山中、満泉寺、国重
第19※	秋吉公民館 集会室	九里川尻、秋吉、河ヶ谷、清真
第20※	白丸コミュニティ施設 多目的交流ホール	立壁、四方山、白丸、内浦長尾、新保
第21※	能登勤労者プラザ 体育館	市之瀬、明野、越坂
第22	小木地区活性化センター ロビー	小木
第23	高倉保育所 遊戯室	姫、真脇、羽生
第24※	小浦地区集会所	小浦、羽根

■承認された報告(1件)

・能登町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

■可決された議案(12件)

- 〈平成22年度補正予算…5件〉
- ・一般会計補正予算(第3号)▽歳入歳出それぞれ4億3548万円を追加し、総額を138億7287万8千円とする
 - ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 - ・介護保険特別会計補正予算(第1号)
 - ・公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
 - ・浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第1号)

・能登町営バス条例の一部を改正する条例について▽布浦、秋吉、四方山地区へ駒渡線を延伸し料金を距離制に統一

・能登町障害者支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

・奥能登広域圏事務組合同約の変更について▽広域公共交通に関する事務を奥能登広域圏事務組合の共同処理事務に追加

・能登町過疎地域自立促進計画の策定について

・町有財産(土地)の無償譲渡について

▽(地)多花菜会用地の無償譲渡

・請負契約の締結について(平成22年度旧能登三郷清掃センター解体撤去工事)▽契約額8313万9千円で前田建設(株)北陸支店金沢営業所と契約を締結

・請負契約の締結について(21災80号町道時長上町1号線道路災害復旧工事)▽変更契約額5313万円で(株)建設と契約を締結

■認定された平成21年度決算

- ①一般会計歳入歳出決算
- ②有線放送事業特別会計歳入歳出決算
- ③国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ④後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ⑤老人保健特別会計歳入歳出決算
- ⑥介護保険特別会計歳入歳出決算
- ⑦観光施設特別会計歳入歳出決算
- ⑧公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ⑨農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- ⑩漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- ⑪浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算
- ⑫簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
- ⑬水道事業会計決算
- ⑭病院事業会計決算

※21年度決算については8-9ページに詳細

■可決された議会議案(3件)

・事務検査に関する決議について

・能登町議会委員会条例の一部を改正する条例について▽教育民生、産業建設常任委員会の委員数を7人から6人に

・県立能登高等学校の募集定員減に反対する意見書の提出について

【財政用語解説】

自主財源：町税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、繰入金、諸収入など自主的に収入し得る財源

依存財源：地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税、地方債など、自主財源以外の収入

町税：町民税、固定資産税など皆さんが納めた税金

繰入金：町の基金からの繰入金

諸収入：町税の延滞金など他の収入科目に含まれない収入

地方交付税：地域間の税源の不均衡を調整し、すべての地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるようにするために、国が地方公共団体の一般財源として配分する税

国庫支出金・県支出金：各種事業に対する国・県からの補助金など

町債：資金調達などのための長期借入金

人件費：議員報酬、各種委員報酬、特別職給与、職員給与、地方公務員共済組合負担金など

扶助費：社会保障制度の一環として、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などにに基づき、生活を維持するために支出される経費や各種扶助の経費

公債費：町債の元利償還金および一時借入金の合算額

普通建設事業費：道路、学校など公共用または公用施設の建設事業に要する経費

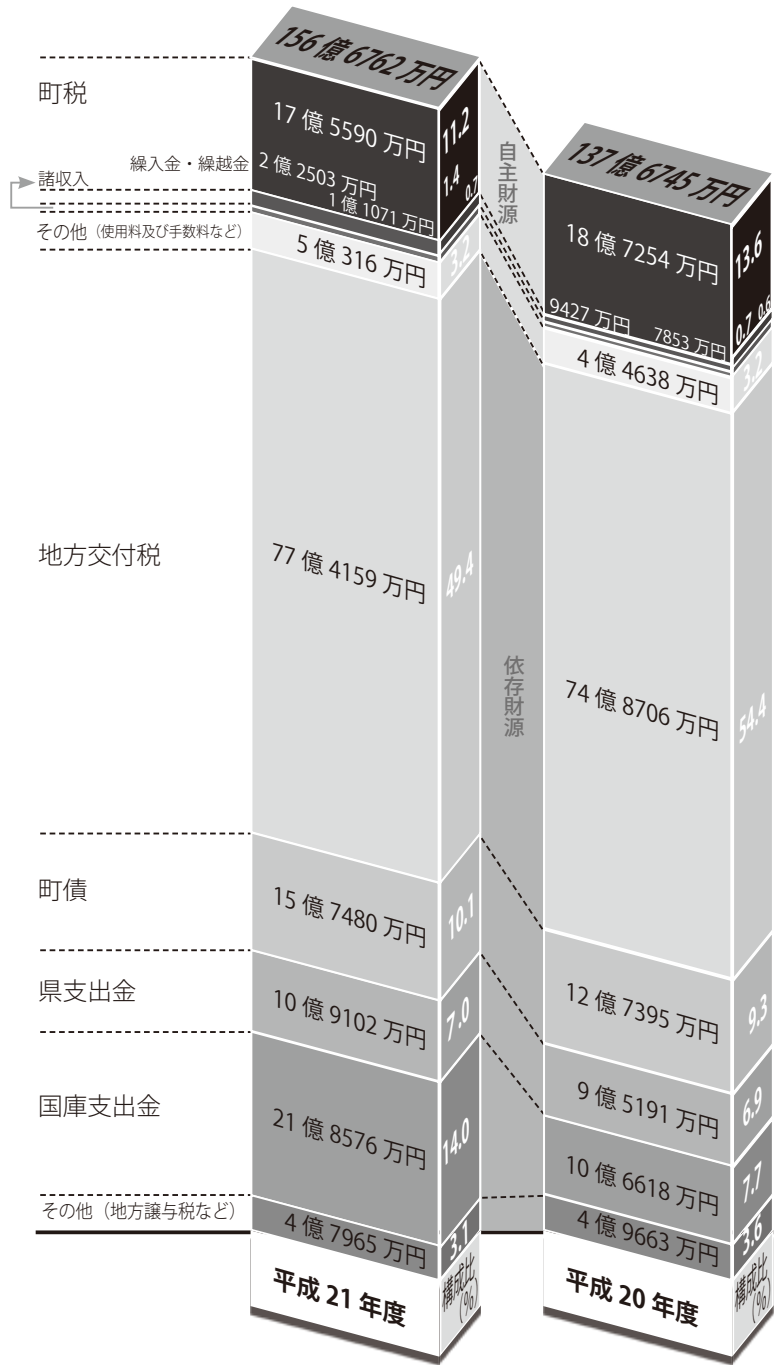
物件費：人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の消費的性質の経費の総称。臨時職員の賃金、需用費（消耗品等）、役務費（郵便料、火災保険等の保険料等）、備品購入費など

補助費等：各種団体への補助金、奥能登クリーン組合や宇出津総合病院への負担金など

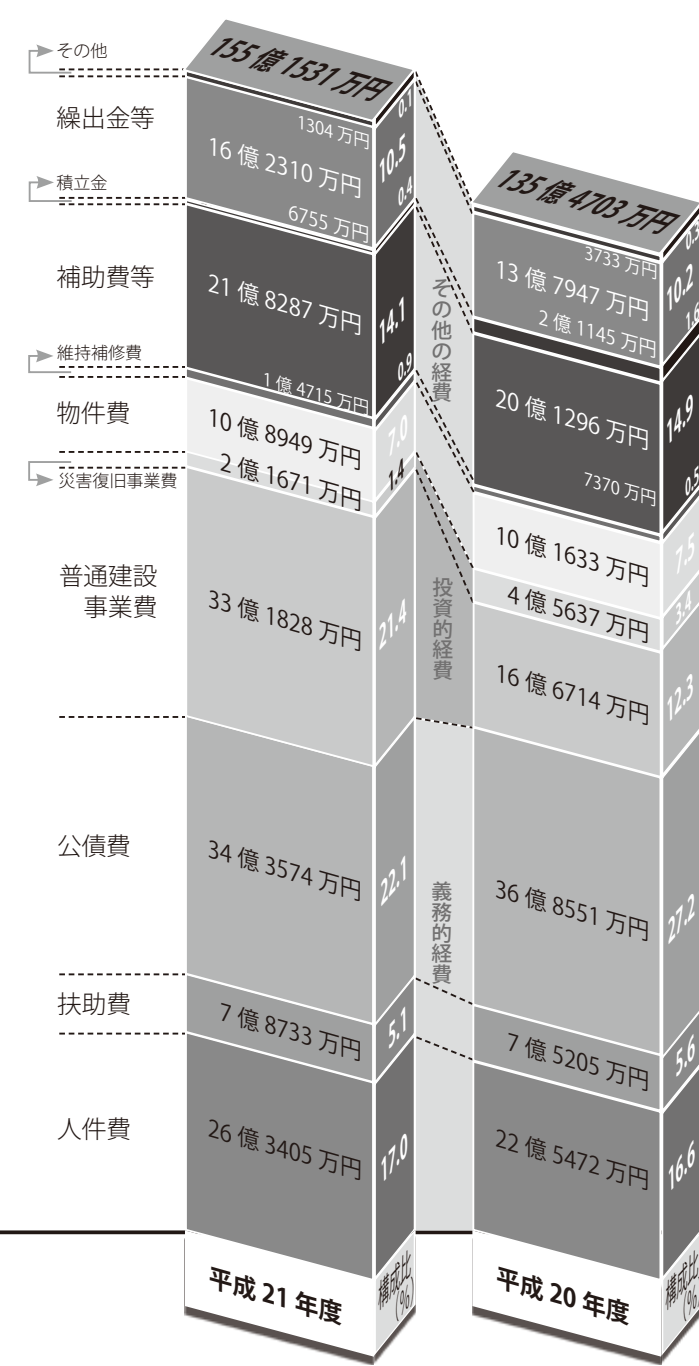
繰出金：一般会計と特別会計、または特別会計相互間で支出される経費

※ 1 地域活性化・各臨時交付金内訳および交付額

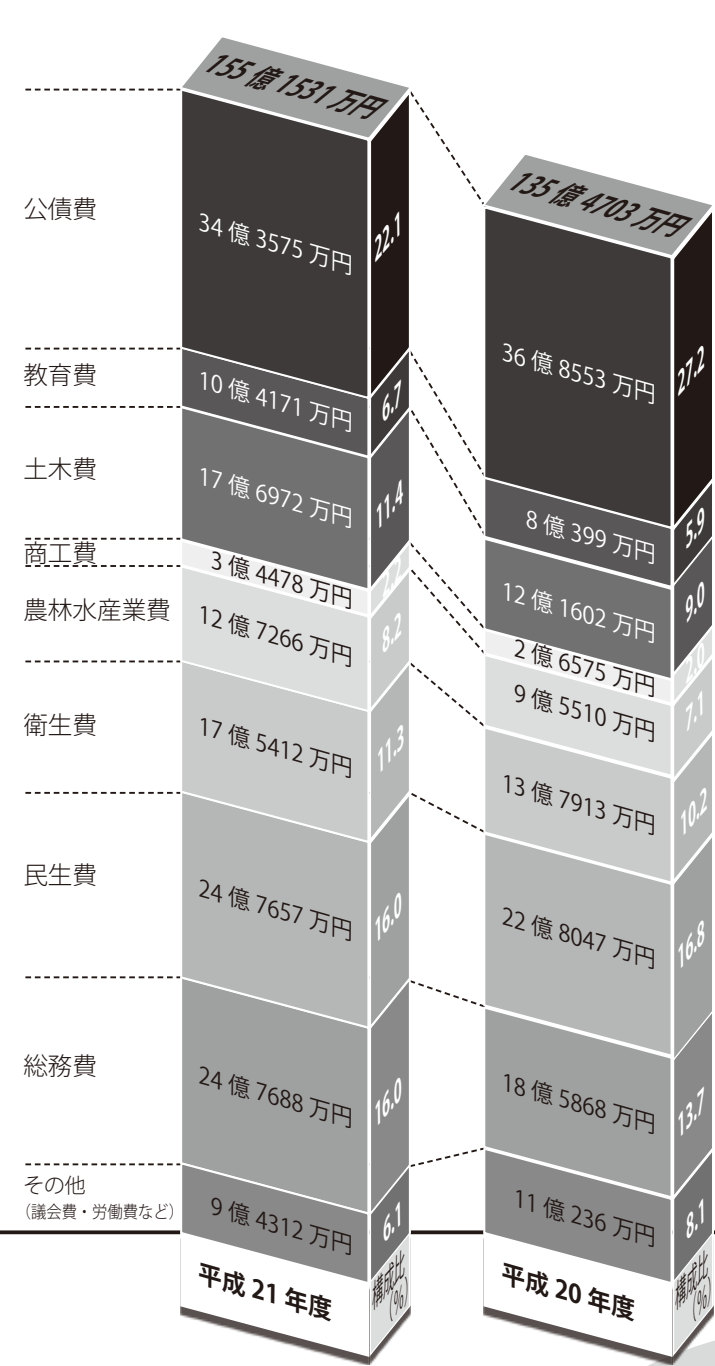
- ・地域活性化・経済危機対策臨時交付金
5 億 7462 万 1 千円
- ・地域活性化・公共投資臨時交付金
1 億 9590 万円
- ・地域活性化・生活対策臨時交付金（H20 繰越）
4 億 1230 万 3 千円
- ・地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金（H20 繰越）750 万円



■歳入決算額の構成



■歳出性質別決算額の構成



■歳出目的別決算額の構成

平成 21 年度決算額は、主に国の景気対策による交付金事業により、19 億 6 8 2 8 万円の増となりました。能登町は、小中学校の環境整備、社会福祉施設改修、町道整備、土地改良事業、情報基盤整備など、交付金を幅広く有効活用し実施しました。

人件費は、臨時の退職手当組合特別給付負担金などにより 3 億 7 9 3 3 万円の増。普通建設事業費では、国の景気対策による地域活性化・各臨時交付金事業の実施などで 16 億 5 1 4 万円の増となりました。特別会計への繰出金についても地域活性化・各臨時交付金事業などで 2 億 4 3 6 3 万円の増となりました。

平成 21 年度決算額は、主に国の景気対策による交付金事業により、19 億 6 8 2 8 万円の増となりました。能登町は、小中学校の環境整備、社会福祉施設改修、町道整備、土地改良事業、情報基盤整備など、交付金を幅広く有効活用し実施しました。

人件費は、臨時の退職手当組合特別給付負担金などにより 3 億 7 9 3 3 万円の増。普通建設事業費では、国の景気対策による地域活性化・各臨時交付金事業の実施などで 16 億 5 1 4 万円の増となりました。特別会計への繰出金についても地域活性化・各臨時交付金事業などで 2 億 4 3 6 3 万円の増となりました。

平成 21 年度決算額は、主に国の景気対策による交付金事業により、19 億 6 8 2 8 万円の増となりました。能登町は、小中学校の環境整備、社会福祉施設改修、町道整備、土地改良事業、情報基盤整備など、交付金を幅広く有効活用し実施しました。

平成 21 年度決算額は、主に国の景気対策による交付金事業により、19 億 6 8 2 8 万円の増となりました。能登町は、小中学校の環境整備、社会福祉施設改修、町道整備、土地改良事業、情報基盤整備など、交付金を幅広く有効活用し実施しました。

平成 21 年度決算額は、主に国の景気対策による交付金事業により、19 億 6 8 2 8 万円の増となりました。能登町は、小中学校の環境整備、社会福祉施設改修、町道整備、土地改良事業、情報基盤整備など、交付金を幅広く有効活用し実施しました。

平成 21 年度決算額は、主に国の景気対策による交付金事業により、19 億 6 8 2 8 万円の増となりました。能登町は、小中学校の環境整備、社会福祉施設改修、町道整備、土地改良事業、情報基盤整備など、交付金を幅広く有効活用し実施しました。

平成 21 年度決算額は、主に国の景気対策による交付金事業により、19 億 6 8 2 8 万円の増となりました。能登町は、小中学校の環境整備、社会福祉施設改修、町道整備、土地改良事業、情報基盤整備など、交付金を幅広く有効活用し実施しました。

平成21年度 決算報告



■特別会計決算の状況

区 分	歳 入	歳 出	差 引
有線放送事業	2 億 1315 万円	2 億 1288 万円	27 万円
国民健康保険（保険事業勘定）	26 億 6519 万円	26 億 4158 万円	2361 万円
国民健康保険（直営診療施設勘定）	524 万円	524 万円	－万円
後期高齢者医療	2 億 8259 万円	2 億 8239 万円	20 万円
老人保健	1174 万円	1174 万円	－万円
介護保険（保険事業勘定）	24 億 324 万円	23 億 5834 万円	4490 万円
介護保険（サービス事業勘定）	1891 万円	1690 万円	201 万円

■企業会計決算の状況

区 分	収 入	支 出	収 支	資金不足比率	経営健全化基準
観光施設	7603 万円	7603 万円	－万円	－%	20.0%
公共下水道事業	7 億 729 万円	7 億 643 万円	86 万円	－%	20.0%
農業集落排水事業	3 億 6720 万円	3 億 6698 万円	22 万円	－%	20.0%
漁業集落排水事業	2877 万円	2877 万円	－万円	－%	20.0%
浄化槽整備推進事業	5111 万円	5109 万円	2 万円	－%	20.0%
簡易水道事業	3 億 9796 万円	3 億 9790 万円	6 万円	－%	20.0%
水道事業	収益的収支	3 億 7964 万円	3 億 5996 万円	－%	20.0%
	資本的収支	6623 万円	1 億 6796 万円		
病院事業	収益的収支	24 億 2520 万円	23 億 4289 万円	9.0%	20.0%
	資本的収支	5 億 8367 万円	6 億 5745 万円		

■財政指標から見る能登町の財政状況

区 分	経常収支比率 【財政の弾力性】	実質赤字比率 【一般会計等の赤字割合】	連結実質赤字比率 【全会計の赤字割合】	実質公債費比率 【借金の実質負担割合】	将来負担比率 【一般会計等の将来負担割合】
	70%～80%→妥当 80%以上→要注意	13.45%～20% →早期健全化基準 20%以上 →財政再生基準	18.45%～40% →早期健全化基準 40%以上 →財政再生基準	18%～25%→警戒・適正化計 画策定 25%～35%→早期健 全化基準 35%以上→財政 再生基準	350%以上 →早期健全化基準
平成 21 年度	94.1%（未発表）	—%（未発表）	—%（未発表）	18.9%（未発表）	160.5%（未発表）
平成 20 年度	95.4%（92.6%）	—%（—%）	—%（—%）	19.2%（14.5%）	175.4%（153.7%）
平成 19 年度	99.7%（92.9%）	—%（—%）	—%（—%）	21.1%（14.3%）	208.9%（163.4%）
平成 18 年度	99.7%（95.2%）			23.2%（18.3%）	
平成 17 年度	104.7%（93.4%）			22.5%（17.0%） [23.9%]	

※ 1（ ）内は県内平均値。－%は赤字比率がない ※ 2 実質赤字比率および連結実質赤字比率の早期健全化基準（13.45%、18.45%）は能登町の平成 21 年度標準財政規模から算出されます ※ 3 早期健全化基準を超えた場合、財政健全化計画の策定が義務付けられます（黄信号） ※ 4 財政再生基準を超えた場合、財政再生計画の策定が義務づけられます（赤信号） ※ 5 平成 17 年度の実質公債費比率は、制度改正があったため上段が改正後比率、下段〔 〕内が改正前比率

■財政状況の特徴

経常収支比率は、本年度 94・1%となり、昨年度と比べ 1・3 割の減となりました。これは、町民の皆さんのご理解とご協力を得ながら実施した大幅な事務事業の見直し、職員数の削減による人件費の抑制、指定管理料の見直しや経常経費の節減による物件費の減少、公債費の一部償還満了などによる減です。しかし、依然として財政危機を完全に脱したわけではありません。

実質公債費比率は 18・9%と依然として高い比率になっています。財政健全化法では、決算をもとに 4 つの指標（※ 2）と公営企業の資金不足比率の公表が義務付けられています。このうち将来負担比率が、160・5%と比較的に高い比率になっています。

「能登町総合計画」には今後、町債が必要となる事業がたくさん計画されています。町債は必要な財源ではありますが、財政健全化のためには地方債の計画的な繰上償還を実施するとともに新たな町債をできるだけ抑制する必要があります。

今後も定員適正化計画、行政改革大綱を実施し、さらなる事務事業の見直しや行政組織の改編、公共施設の適正な管理運営を進める必要があります。

総合的には、行財政改革の効果が徐々に現れ始め、少しずつ財政の健全化に向けて進んでいると言えます。

※ 2 4 つの指標：実質公債費比率・実質赤字比率・連結実質赤字比率・将来負担比率

明治大学を日本一にした男

黒田 仁一

くるだ・じんいち（鶴川出身）
明治大学経営企画部広報課長

明治大学のシンボル
リパティタワー（教育棟）前にて

明治大学を志願者数 日本一に導く

2010年大学一般入試。その志願者数で明治大学が早稲田大学を抜いて日本一となった。

明治大学の志願者数は11万5700人。99年に6万人台まで落ち込んだ志願者数を回復させ、日本一に導いた立役者となったのが、明治大学広報課長の黒田仁一さん（47）＝鶴川出身＝だ。

学長室で大学の教学改革などに携わっていた黒田さんは、05年に広報部に異動。「当時の明治大学は『広報下手』な状況でした。大学が変わるために、まず広報から変わらなければならぬ」と目標を立てました」と就任当時を振り返る。

目指したのは『広報体制の確立』。まず優秀な人材が必要と考えた黒田さんは経営陣を説得。明治大学としては異例の中途採用を実施し、広報や報道の第一線で活躍する人材を3人確保することに成功した。

「大学広報には大きく分けると、危機管理、ブランディング、ホームページ、広報誌、そして

広告・宣伝という5つの役割があり、この中には予算がなくてできることがあります。

例えば報道機関やマスコミに対する情報提供であるプレスリリースは、今まで年間30本程度だったものを約100本まで増やしています。さらに情報として取り上げやすいリリース内容も工夫するなど、小さなことを積み重ねて結果を出してきました。

広報の効果は目に見えない部分も多く、その予算はすぐに削減の対象になります。それでも結果を出していくことで経営陣に認められ、広報誌の刷新やホームページの充実、思い切った広告展開などに力を入れることができるようになりました」

大学改革と広報改革の両輪で日本一の座に駆け上がった明治大学。それでも学生一人当たりの獲得コストは全国二番目に低いという。

大学が変わるために、まず広報が変わらなければならない――。

大学改革と入試改革で 変貌したイメージ

「明治大学の改革は、ほかの大学に比べて遅れていました。その分この10年間で一気に大学改革を進めたのです」と話す黒田さん。大学の改革についてこう続ける。

「ハード面の改革は98年に完成した駿河台キャンパス、リパティタワーです。地上23階、すべての机にLAN接続端子を備え、女子学生用のパウダールームも設置した、当時最先端の教育施設でした。大学選択にハード面も重視される時代。このリパティタワーで、かつてパンカラなイメージであった明治大学が都市型大学へとそのイメージを変えることができました。女子学生も年々増加し『リパティ効果』といっているでしょう」



古里・鶴川の海岸にて

在は年間390講座を開講し、2万人以上の市民らが学んでいるという。ハード面の改革で志願者増を果たした明治大学。入試改革でさらに躍進する。

「07年に同じ日に一度の試験で複数の学部併願できる『全学部統一入試』を導入しました。この試験を地方でも実施し、全国の学生に目を向けてもらう取り組みを進めました。かつて『方言の聞こえる大学』と呼ばれた明治大学ですが、現在7割が首都圏の学生です。わたしは明治大学をもう一度『方言の聞こえる大学』として、地方の優秀な人材が集まる大学にしたいと思っています」

日本一という大きな目標を達成しても、さらに前を見続ける黒田さん。その精神には、かつて明治大学ラグビー部を黄金時代に導いた北島忠治監督の『前へ』の精神が受け継がれているかのようだ。

東京にაცგれ 東京を目指した

中学校までは鶴川で過ごした。小学校高学年の時の夢は『政治家』。下宿しながら通った七尾高校時代に「六大学に入って東京で視野を広げたい」と東京の大学進学を目指した。しかし現役受験は失敗。黒田さんは東京の予備校に通う決意をする。

『『急行の』』に一人で飛び乗り、東京で予備校を探しました。『大学卒業後は鶴川に帰ってくる』というのが、自分のわがままを聞いてくれた親との約束でした」

翌年、早稲田大学教育学部と明治大学法学部に合格。親や親せきからは早稲田を勧められたが「法曹関係を目指したい」と明治大学を選んだ。

「東京で一旗揚げたいと思っていた自分と明治大学の校風（在野精神）が合っていたんだ

忘れられない古里 能登の子どもたちへ

そんな多忙を極める黒田さんだが、年に2回は必ず古里である鶴川に帰省しているという。

「古里のことは忘れたことがありません。鶴川で過ごした日々は、心の片隅にいつも残っています」と思いをはせる。

「明治大学にはソフトテニスの推薦などで能登町から入学して頑張っている子どもたちもいます。能登全体で見ても学生が

集まっています。

東京は政治・経済・文化の中心地です。わたしは能登の子どもたちに、東京の大学を目指してほしいと思っています。東京でしか学べないことがたくさんあります。東京でしか経験できないこともたくさんあります。ぜひ東京のど真ん中で頑張ってもらいたいと思います」

能登町出身の一人として、大学の広報を舞台に活躍する黒田さん。今後のさらなる活躍が、能登町の子どもたちへの力強いメッセージになる。



黒田さんが手掛けた広報誌。大手出版社や編集社を巻き込み、クオリティーの高い紙面で大学の魅力をアピールする。

政治・経済・文化の中心である東京で 能登の若者に頑張ってほしい――。



【くろだ・じんいち】

1963年鶴川生まれ。鶴川小・中学校を卒業し七尾高校、明治大学法学部へ進学。卒業後、同大学に就職。94年学長室、98年総合企画部、05年広報部を経て、09年4月から経営企画部広報課長に就任。東京都在住。



一年に一度。女性がん検診。

＋骨密度検診

10月から女性がん検診を実施します。
女性がん（子宮・乳）は、2年に1回の検診で早期発見の効果があり、早期発見できれば完治する可能性が高いがんです。
昨年度受けていない人は、受診しましょう。会場では骨密度検診も同時に受けられます。

岡町健康福祉課健康推進グループ
☎72-2504

〈対象〉

対象 ※平成23年3月31日 現在の年齢	受けられる検診		
	子宮 けい 頸がん	乳・ 甲状腺がん	骨密度
20～39歳の女性	○	—	○
40から69歳の女性	○	○	○
70歳以上の女性	○	○	—

※40歳以上で健康手帳をお持ちの人は持参してください。
※がん検診無料クーポン券が送られてきた人は、必ず持参し受付時に提出してください。
※女性がん検診は2年に一度の検診です。昨年度受診した人は、本年度対象になりません。

〈料金／検査内容など〉

検診種類	料金	検査内容・注意事項
子宮頸がん検診	700円	検診内容：問診、視診、 さっか 擦過細胞診 ・生理中の人は受診できません。 ・前日の性交は避けてください。 ・スカートをはいて来ると、スムーズに受診できます。
乳・甲状腺がん検診	40歳代女性：1,500円 (マンモグラフィー2方向)	検診内容：問診、視触診、マンモグラフィー ・視触診とマンモグラフィー（乳房レントゲン撮影検査）の両方を受けてもらいます。 ・ペースメーカーや豊胸手術を受けた人は受診できません。  日本では、約20人に一人が乳がんにかかっています。
	50歳代女性：1,000円 (マンモグラフィー1方向)	
骨密度検診	400円	検診内容：問診、超音波骨検査、保健・栄養相談 ・ストッキング、靴下は脱いで測定します。

 子宮にできるがんのうち、約7割は子宮頸がんです。子宮頸がんは20～30歳代に急増しています。

 「骨折・転倒」は要介護となる原因の1割近くを占めています。「骨折リスク」を測定してみましょう。

〈医療機関で受ける場合〉実施期間：平成22年10月1日～11月30日
○＝午前中（受付時間は各病院で異なりますのでご確認ください）

医療機関	検診	診療日					電話番号	予約・受付
		月	火	水	木	金		
公立宇出津総合病院 (検診科)	子宮	○					62-1311	要予約
	乳	○	○	○	○	○		
中沢産婦人科医院	子宮	○	○	○	○	○	62-0511	要予約
珠州市総合病院	子宮	○	○	○	○	○	82-1181	予約不要（産婦人科）
	乳	○	○	○	○	○		要予約（健診科）
市立輪島病院	子宮	○	○	○	○	○	(0768) 22-2222	予約不要
	乳	○	○	○	○	○		要予約（健診室） 受付時間 11:00～11:30
公立穴水総合病院	子宮	○	○	○	○	○	(0768) 52-0511	要予約（健診科）

〈町内の健（検）診会場で受ける場合〉
都合の良い日を選んで受診してください。

日付	会場	受付時間	子宮	乳・ 甲状腺	骨密度	肺	特定 健診	肝炎 ウイルス
10/13 (水)	鶴川公民館	13:30～14:30	○	○	○			
10/15 (金)	役場能都庁舎	13:30～14:30	○	○	○			
		17:30～19:00	○	○	○			
10/17 (日)	役場能都庁舎	9:00～11:00				○	○	○
		13:30～14:30	○	○	○	○	○	○
10/20 (水)	小木活性化センター	13:30～14:30	○	○	○			
10/22 (金)	内浦福祉センター	13:30～14:30	○	○	○			
		17:30～19:00	○	○	○			
10/24 (日)	柳田山村開発センター	9:00～11:00				○	○	○
		13:30～14:30	○	○	○	○	○	○
10/27 (水)	柳田山村開発センター	17:30～19:00	○	○	○			
10/31 (日)	内浦福祉センター	9:00～11:00				○	○	○
		13:30～14:30	○	○	○	○	○	○

本年度の特定健診、肺がん検診はお済みですか？10月31日まで

町内健（検）診会場で受ける場合は、上記の日程をご覧ください。町内医療機関で受ける場合は10月31日までです。まだ受診していない人は、この機会に受診することをお勧めします。対象は40歳以上の人です。
〈料金〉特定健診 700円 肺がん検診 200円 肝炎ウイルス検診 500円（医療機関での肝炎ウイルス検診は800円です。希望される人は、健康福祉課健康推進グループ（☎72-2504）までご連絡ください）
※特定健診を受けるには健康保険証と受診券が必要です。国民健康保険にご加入の人は、今年5月末郵送の特定健康診査受診券、または10月上旬郵送の未受診者ハガキをご持参ください。